

静岡放射能汚染測定室だより

第17号

2013年1月30日発行



★生命を探す旅★

清重伸之画

目次

- | | | | |
|----------------------|----|--------------------|-----|
| ■ 静岡 測定結果報告 | …1 | ■ 測定室よりお知らせ | |
| ■ 静岡 測定についての補足 | …3 | 第17回『放射能を話そう♪』 | …9 |
| ■ 浜松分室 測定結果と補足 | …4 | 幸せお届け便の申し込み | …9 |
| ■ 第15回『放射能を話そう♪』報告 | …5 | 浜松分室だより | …9 |
| ■ 測定からみえてくるもの | …6 | 測定室日誌 | …9 |
| ■ 『静岡の娘へ』(13) 河野益近寄稿 | …8 | ■ 磐田市地域安心マップ | …10 |
| | | ■ プラムフィールドの窓・測定室の風 | …11 |

会員頒布用価格 1部 500円

測定結果報告【静岡】

2012年11月15日～2012年12月14日

・測定値の単位：ベクレル/kg、() 内の数値は検出限界値（単位はベクレル/kg）

・ND：不検出 ・「↓」：検出限界値以下 ・測定器：NaIシンチレーション検出器

No.	補足	検体名	産地・採取地	採取年月日	検体情報	セシウム137	セシウム134
1		玄米	山形県鶴岡市	2012年10月		ND(0.97↓)	ND(1.15↓)
2		玄米	宮城県登米市	2011年10月1日		ND(1.56↓)	ND(1.85↓)
3		白米	宮城県登米市	2012年10月15日		ND(0.86↓)	ND(1.01↓)
4		白米	静岡県田方郡	2012年10月19日		ND(0.92↓)	ND(1.08↓)
5		玄米	静岡県富士宮市	2012年10月	合鴨米・中山間地の田・肥料不使用	2.18±1.38	ND(1.67↓)
6		白米	静岡県富士宮市	2012年10月	No.5の玄米を精米	ND(1.43↓)	ND(1.7↓)
7		玄米	静岡県掛川市	2012年10月		ND(0.87↓)	ND(1.02↓)
8		しいたけ生	静岡県賀茂郡	2012年6月12日	原木栽培（直売所で購入のため、原木産地不明） 洗って、石づきをとる	6.19±1.31	ND(1.38↓)
9	※	しいたけもどし汁	兵庫県淡路市	2012年5月	原木：淡路島産 水洗いせず、石づき付き	ND(1.21↓)	ND(1.42↓)
10		なめこ	静岡県駿東郡	2012年11月2日	杉林の中で原木栽培 洗わず、石づき付き	57.23±3.86	28.84±3.34
11		なめこ	静岡県静岡市葵区	2012年12月3日	露地栽培・おがくず不使用 洗わず、石づき付き	5.34±0.93	3.78±1.05
12	※	さつまいも	静岡県静岡市葵区	2012年11月25日	洗って、皮つき	ND(1.29↓)	ND(1.44↓)
13	※	さつまいも	静岡県御前崎市	2012年11月15日	洗って、皮つき	ND(1.85↓)	ND(2.06↓)
14	※	大根	静岡県御前崎市	2012年11月18日	洗って、皮つき	ND(1.48↓)	ND(1.64↓)
15		みかん	静岡県浜松市北区	2012年11月15日	皮ごと	ND(0.8↓)	ND(0.94↓)
16		わかめ（塩蔵）	徳島県鳴門市	2012年4月		ND(0.85↓)	ND(1.01↓)
17	※	ひらめ	静岡県浜松市南区（遠州灘）	2012年11月25日	可食部（皮とうろこ付き・血抜き済み）	1.09±1.12	ND(1.03↓)
18	※	牛乳	静岡県内各地	2012年12月2日	静岡県学校給食用「ふじの国から静岡牛乳」 【賞】2012年12月10日	0.78±0.66	ND(0.76↓)
19		りんご	長野県	2012年10月	洗って、芯と種を取り、皮ごと	ND(0.91↓)	ND(1.04↓)
20		黒大豆	北海道中川郡	2011年10月	「黒大豆の小粒納豆」の原料 こだわりの味協同組合認定品	ND(1.3↓)	ND(1.54↓)
21		納豆	北海道中川郡	2011年10月	No.19の黒大豆使用 「黒大豆の小粒納豆」 こだわりの味協同組合認定品 【賞】2012年11月28日	ND(1.31↓)	ND(1.56↓)
22		玄米	静岡県焼津市	2012年10月20日	もち米「静岡在来種金太糯」 こだわりの味協同組合認定品	ND(1.68↓)	ND(1.98↓)
23		緑茶	静岡県静岡市葵区A	2012年5月～11月	釜ぐり茶 「紅富貴」	12.7±0.83	10.03±0.89
24	※	飲用茶	静岡県静岡市葵区A	2012年5月～11月	No.23の茶葉で煎れた飲用茶	ND(1.34↓)	ND(1.54↓)
25		緑茶	静岡県静岡市葵区AとB	2012年6月	釜ぐり茶	9.69±0.82	8.02±0.88
26	※	飲用茶	静岡県静岡市葵区AとB	2012年6月	No.25の茶葉で煎れた飲用茶	ND(1.52↓)	ND(1.7↓)
27		蜂蜜	静岡県静岡市葵区・駿河区	2012年10月15日	日本蜜蜂の蜂蜜・百花蜜	ND(0.91↓)	ND(1.01↓)
28	※	水道水	静岡県静岡市葵区	2012年12月6日	測定室水道水・採水2時間後（雨の2日後）	ND(0.55↓)	ND(0.65↓)
29	※	水道水	静岡県静岡市葵区	2012年12月8日	測定室水道水・3日間晴天が続く	ND(0.58↓)	ND(0.68↓)
30		RO水	静岡県静岡市葵区	2012年12月6日	測定室の水道水を 「逆浸透膜ろ過システム」に通した水	ND(0.58↓)	ND(0.68↓)

No.	補足	検体名	産地・採取地	採取年月日	検体情報	セシウム137	セシウム134
31		りんご(王林)	長野県長野市	2012年11月23日	洗って芯と種を取り、皮ごと・サンファームグループ ピオ・ゲミューズの会	ND(1.31↓)	ND(1.5↓)
32		りんご(ふじ)	長野県須坂市	2012年12月1日	洗って芯と種を取り、皮ごと・サンファームグループ ピオ・ゲミューズの会	ND(0.63↓)	ND(0.7↓)
33		にんじん	北海道上川郡新得町	2012年11月	洗って皮ごと・宮下グループ	ND(1.78↓)	ND(1.98↓)
34		かぼちゃ	北海道上川郡新得町	2012年10月	洗って種とワタを取り、皮ごと・宮下グループ	ND(1.68↓)	ND(1.93↓)
35		かぼちゃ(種とワタ)	北海道上川郡	2012年10月	No.34のかぼちゃ	ND(1.43↓)	ND(1.65↓)
36		れんこん	広島県山県郡北広島町	2012年11月25日	洗って節を取り、皮ごと・舩見農園	ND(1.44↓)	ND(1.65↓)
37		豚肉(こま切れ)	静岡県富士宮市(朝霧高原)	2012年11月21日	放牧豚	ND(1.23↓)	ND(1.36↓)
38		玄米	愛知県新城市	2012年10月20日	福津農園	ND(1.43↓)	ND(1.69↓)
39		料理酒(もち米・米麴)	岐阜県	2010年秋	「花美蔵 純米料理酒」白扇酒造㈱ 【製造日】2012年10月	ND(1.66↓)	ND(1.85↓)
40		みりん(もち米・米麴)	岐阜県	2009年秋	「三年熟成本みりん 福来純」白扇酒造㈱ 【賞】2014年11月	ND(1.33↓)	ND(1.49↓)
41	※	塩	沖縄県宮古島市	2011年5月24日	「雪塩 ピン顆粒タイプ」㈱パラダイスプラン 【製造日】2011年5月25日	ND(0.97↓)	ND(1.09↓)
42	※	マヨネーズ	「測定の補足」参照	「測定の補足」 参照	「こだわりのマヨネーズ」 こだわりの味協同組合認定品 【賞】2013年3月11日	【GE検出器 (EMF)】 ND(1.67↓)	【GE検出器 (EMF)】 ND(2.97↓)
43		大根切干	宮崎県東諸県郡国富町	2012年1月	「切干大根(天日干し)」 こだわりの味協同組合認定品 【賞】2013年4月22日	ND(2.1↓)	ND(2.41↓)
44		まぐろ油漬缶	西部太平洋海域	2012年4月上旬	「まぐろの油漬フレーク缶詰」 こだわりの味協同組合認定品 【賞】2015年10月3日	ND(1.25↓)	ND(1.43↓)
45	※	しょう油	北海道・秋田県・青森県・埼玉県	「測定の補足」 参照	「御用蔵生醤油1ℓ」ヤマキ 【賞】2013年11月25日	ND(0.84↓)	ND(0.99↓)
46		砂糖	鹿児島県種子島	2011年11月	「洗双糖500g」鹿北製油㈱	ND(1.12↓)	ND(1.24↓)
47		菜種油	北海道・鹿児島・宮崎・福岡県	2012年春	「菜の花畑」鹿北製油㈱ 【賞】2014年10月1日	ND(1.56↓)	ND(1.73↓)
48		味噌	長野県安曇野市(大豆・米)	2010年秋 (大豆・米)	「天然醸造 無添加 発芽玄米味噌」 こだわりの味協同組合認定品 【賞】2013年5月26日	ND(0.96↓)	ND(1.07↓)
49		震災がれき	岩手県山田町・大槌町	2012年10月13日	島田市田代環境プラザ(焼却場)に搬入されたもの。	6.37±0.75	5.58±0.83

SAVE JAPAN NETWORK-II 地域安心マップ (千葉県・東京都・静岡県裾野市・静岡市) 2012年10月14日~10月30日

No.	補足	検体名	産地・採取地	採取年月日	検体情報	セシウム137	セシウム134
50		土 通路	千葉県市川市大洲3丁目-20	2012年10月29日	江戸川河川敷の通路中央	37.07±2.2	20.5±1.98
51		土 公園	東京都中央区日本橋箱崎18-18	2012年10月30日	箱崎公園の広場	407.15±	239.68±
52		土 校庭	静岡県裾野市佐野1143	2012年10月15日	裾野私立西小学校	2.69±1.57	2.24±1.76
53		土 庭	静岡県裾野市佐野1107	2012年10月15日	自宅	17.3±2.07	9.6±1.99
54		土 庭	静岡県裾野市佐野1407	2012年10月17日	自宅	36.73±2.71	21.35±2.48
55		土 雨どい下	静岡県裾野市佐野1407	2012年10月17日	自宅	8.15±1.7	3.23±1.69
56		土 公園	静岡県裾野市千福ヶ丘1-15	2012年10月16日	むつみ公園	19.89±2.18	9.65±2.03
57		土 公園	静岡県裾野市千福ヶ丘3-8-9	2012年10月14日	千福ヶ丘中央公園 広場ベンチ下 岩手県の震災がれき本焼却前	19.98±2.03	11.03±1.89
58		土 公園	静岡県裾野市千福ヶ丘3-8-9	2012年10月28日	千福ヶ丘中央公園 広場ベンチ下 岩手県の震災がれき本焼却後	15.59±1.88	9.07±1.81

No.	補足	検体名	産地・採取地	採取年月日	検体情報	セシウム137	セシウム134
59		土 公園	静岡県裾野市千福7-11	2012年10月14日	裾野市中央公園の片側が林の歩道 岩手県の震災がれき本焼却前	52.52±1.12	33.84±1.04
60		土 公園	静岡県裾野市千福7-11	2012年10月28日	裾野市中央公園の片側が林の歩道 岩手県の震災がれき本焼却後	40.49±2.8	22.6±2.5
61		土 畑	静岡県裾野市公文名684	2012年10月14日	岩手県の震災がれき本焼却前	129.36±	74.93±4
62		土 畑	静岡県裾野市公文名684	2012年10月28日	岩手県の震災がれき本焼却後	38.48±2.74	23.59±2.53
63		土 公園	静岡県静岡市清水区草薙一里山119	2012年10月17日	一里山北公園 木の下	16.72±1.63	11.01±1.61
64		土	静岡県静岡市清水区草薙1169	2012年10月17日	自宅	ND(0.85↓)	ND(1↓)
65		土 庭	静岡県静岡市葵区瀬名2丁目24	2012年10月16日	自宅	6.02±1.29	1.8±1.29
66		土 庭	静岡県静岡市葵区瀬名2丁目26	2012年10月16日	自宅	9.09±1.42	3.54±1.38
67		土 庭	静岡県静岡市葵区瀬名3丁目8	2012年10月16日	自宅	11.31±1.48	4.64±1.42
68		土	静岡県静岡市葵区瀬名3丁目8	2012年10月16日	自宅 隣家との間	7.45±1.32	3.88±1.35
69		土 公園	静岡県静岡市葵区南沼上1丁目24	2012年10月16日	松下公園	13.35±1.57	5.17±1.46
70		土 菜園	静岡県静岡市葵区上土2丁目9	2012年10月16日	自宅	7.05±1.33	4.98±1.41
71		土 駐車場	静岡県静岡市葵区竜南1丁目2	2012年10月16日	自宅	24.89±1.84	13.59±1.7
72		土 滑り台下	静岡県静岡市葵区竜南1丁目23-1	2012年10月15日	竜南小学校	8.87±1.72	3.83±1.69
73		土 校庭	静岡県静岡市葵区竜南1丁目23-1	2012年10月15日	竜南小学校	23.2±2.2	14.35±2.1
74		土	静岡県静岡市葵区北安東5丁目5	2012年10月16日	団地内遊び場	8.02±1.48	6.74±1.59
75		土 庭	静岡県静岡市葵区北安東5丁目5	2012年10月16日	自宅	11.9±1.5	5.36±1.44
76		土 花壇	静岡県静岡市葵区瓦場町52	2012年10月16日	自宅	9.4±1.32	5.51±1.33
77		土 砂場	静岡県静岡市葵区大岩町12-37	2012年10月16日	てるみ幼稚園	ND(1.21↓)	ND(1.38↓)
78		砂 公園	静岡県静岡市葵区城東町54	2012年10月16日	青木の杜公園 砂場	ND(0.64↓)	ND(0.75↓)
79		砂 公園	静岡県静岡市葵区安倍口新田43-1	2012年10月16日	安倍口幼稚園 砂場	ND(0.84↓)	ND(0.98↓)
80		土	静岡県静岡市葵区安倍口新田43-1	2012年10月16日	安倍口幼稚園 土山	ND(0.61↓)	ND(0.72↓)

■ 測定についての補足 【静岡測定室】

80検体の報告をします（食品48検体・環境試料32検体）。

「検体情報」中の【賞】は、「賞味期限」の略です。

※印は「測定についての補足」または「関連記事」があります。

※9 冬菇（どんこ）90gを1800mlの水に5時間つけたもの。

※12 栽培した畑の土の測定値：（13号で報告）

【セシウム137】5.7【セシウム134】5.6

※13.14 栽培した畑の土の測定値：（11号で報告）

【セシウム137】6.0【セシウム134】4.0

※17 海岸より100～200mの地点で釣り上げたもの。

※18 牧場の場所：富士山麓朝霧高原・焼津市大井川・浜松市

※24・26 No.23.25の茶葉30gを各々1000mlの90℃の湯で、60秒抽出したもの。

※41 採取した海水を熱い鉄板に流すと瞬時に塩になる。

※42 製造日：2012年10月10日。

【卵黄】愛知県・岐阜県・三重県産/2012年4月採卵の卵液（冷凍）

【菜種油】オーストラリア産2011年12月頃収穫の菜種/非遺伝子組み換え圧搾しぼり

【りんご酢】青森県産2011年秋収穫のりんご果汁使用。2012年9月12日製造

※45 【大豆】秋田県・北海道・青森県産 2009年秋～2010年秋収穫

【米】埼玉県・北海道産 2010年秋～2011年秋収穫 【塩】メキシコ沖原塩



測定結果報告【浜松分室】

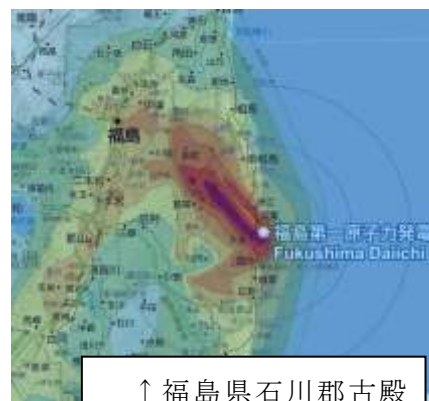
2012年11月25日～2012年12月27日

- ・測定値の単位：ベクレル/kg、() 内の数値は検出限界値（単位はベクレル/kg）
- ・ND：不検出 ・「↓」：検出限界値以下 ・測定器：NaIシンチレーション検出

No.	※	検体名	産地・採取地	採取年月日	検体情報	セシウム137	セシウム134
81		米ぬか	国産：米ぬか、米糞、唐辛子	2012年	左記の他に食塩使用 備マルアイ食品 熟成ぬか 【賞】2013年9月23日	ND(0.7↓)	ND(0.8↓)
82		押麦	国産	2012年	国内産七分づき押麦 榊創健社 【賞】2013年6月27日	ND(0.5↓)	ND(0.6↓)
83	※1	生椎茸	浜松市天竜区	2012年		10.4	5.5
84		蓮根	茨城県	2012年11月	節なし、皮なし	ND(1.0↓)	ND(1.0↓)
85	※2	蓮根	茨城県	2012年11月	節あり、皮あり	ND(1.0↓)	ND(1.0↓)
86		玄米	静岡県袋井市産	2012年9月		ND(0.6↓)	ND(0.7↓)
87		玄米	静岡県浜松市東区	2012年		ND(0.5↓)	ND(0.6↓)
88	※3	蓮根	茨城県	2012年11月	節あり、皮あり	14.3	7.4
89		茶葉	静岡県周智郡森町	2012年	乾燥茶葉	22.9	11.9
90	※4	飲用茶	静岡県周智郡森町	2012年		ND(0.7↓)	ND(0.8↓)
91		白米	福島県石川郡古殿町	2012年		ND(0.5↓)	ND(0.6↓)
92		加工肉ムース	岩手県花巻市（加工）	2012年	減塩ムース（ビーフ） 銀河フーズ㈱ 【賞】2012年12月19日	ND(0.8↓)	ND(1.0↓)
93		ほうじ茶	静岡県	2012年	静岡県産有機緑茶 ムソー㈱ 【賞】2013年11月25日	ND(2.2↓)	ND(2.6↓)
94		玄米クリーム	国産	2012年	国産有機玄米、食塩 コジマフーズ㈱ 【賞】2013年10月15日	ND(0.5↓)	ND(0.6↓)
95		そば粉	東北地方	2012年	玄そば オーサワジャパン㈱ 【賞】2013年9月27日	ND(0.7↓)	ND(0.9↓)
96		玄米	静岡県浜松市	2012年		ND(0.5↓)	ND(0.6↓)
97	※5	小麦粉	福岡県	2012年	石臼全粒粉 太陽製粉㈱ 【製造日】2012年11月26日 【賞】2013年3月26日	ND(0.9↓)	ND(1.1↓)

測定についての補足【浜松分室】

- ※83 生シイタケの石突を丁寧に取り去り、濡れたペーパータオルで表面を拭き取ったものをみじん切りにしたもの。
- ※85 4で取り除いた節部分の黒ずみを取り除いたもの及び剥いた皮を、4に投入混合後再度測定。
- ※88 4・5の結果を受けて、改めて保存しておいた16号の検体No. 15（蓮根）を再測定したもの。
- ※90 9の茶葉30gを90℃のお湯900mlに60秒間浸したもの。
- ※97 16号No. 13の小麦粉の全粒粉タイプ。



↑ 福島県石川郡古殿

■ 第15回『放射能を話そう♪』12月13日(木) 報告と感想

進行：スタッフ 馬場利子

報告：スタッフ 宮本万倫子

参加者：18名（会員9名 一般1名 スカイプ参加者2名 スタッフ6名）

ゲスト：清重伸之さん（きよしげ のぶゆき）

今回は「測定室だより」の扉の絵を描いて下さっている清重伸之さんをゲストにお迎えしての「話そう会」。清重さんは原発事故や事故後の事も調べられていて、九州や信州で保養する時間を持たれているそうです。

参加者の自己紹介をしながら、食の話、建材の話、国家の話、命の話と話題はひろがっていきました。食の話では、豆や玄米を食べる時に12時間は浸水させること、また雨と水道水の関係（本文参照）などが話されました。

建材の話では「エコ〇〇」等「エコ」という名がついたリサイクル（エコセメントなど）の輪に「放射能で汚された物質」が入ってきているという情報がありました。

「3月11日の震災以降、それまでの食そして生き方が揺らいでいたことに気づかされた」との参加者の声に「気づくことはいいが、福島県の人達を犠牲にしてはいけない。」との声も上がりました。

清重さんは「健全なかたちで怒る」、マイナなことは口に出さない風潮があるが、自分の感覚を信じること。そして「悪い奴が次に何をするか??? 先を考える」そのためには今、ヒトラーに注目している。とのことでした。

森のように静かで、木々のささやきのようにユーモアがあり、伏流水のように豊かな清重さんをお迎えしての「話そう会」。「健全なかたちで怒る」という言葉が参加者の意識を刺激したことでしょう。

参加者の感想

静岡市葵区在住 片山 邦子

今度の選挙は自民党が圧勝した。その原因を探ってみると、北朝鮮のミサイル発射、尖閣諸島での中国との緊張の高まりなど、外交問題に対する執拗なまでのメディア報道が流され続けてきたことが第一に挙げられる。こ

のことで利益を得るのは誰かをよく考える必要がある。

まず第一に米国。日本が強く軍備を持てば、財政赤字に苦しむオバマ政権の軍事行動の協力部隊として、活用することができる。第二に日本。東アジアの緊張が高まれば、憲法九条を改正し、核武装を含む軍備の増強ができる。そうなれば原発推進は当然のこととなるだろう。第三に中国。内部に民族紛争を抱える中国は、強硬外交を進めて、中国の統一を図ろうとする軍部が台頭する。第四に北朝鮮。選挙のタイミングでミサイルを発射すれば周辺国との緊張が高まり、金正恩体制の軍事力を効果的に誇示できる。こうした状況は米国の軍産複合体にとって大変好都合である。すなわち同盟国には高い武器を売り、経済関係を深めてきた日・中・韓での日本企業のシェアを奪うことも可能となる。貿易立国の日本が軍備拡張しても、一文の得にもならないことをよく考えるべきである。

排外的なマスコミ報道に乗せられないためにも、今こそ歴史を振り返る必要があるだろう。放射能を話そう会のメンバーで認識を共有するため、孫崎享『戦後史の正体』の一読をお勧めしたい。米国の対日工作がいかに巧妙なものであったかを納得していただけるのではないかと感じた。またゲストの清重さんが、「ヒトラーを学びたい」とおっしゃったのも、戦争を望む人達の情報操作が、いかに国民を動かしていったのかという危機感が根本にあるものと思われる。好戦の雰囲気呑み込まれないよう、今こそ歴史を学び、目を凝らす必要があると感じた。



静岡市の水道水から観える事

今回は、依頼を受けての測定ではなく、測定室で観察している水道水（測定室の事務所の水道水を試料にしています）についてご報告します。

放射性物質は環境の中を移動しますから、2011年3月の事故直後の水道水に放射性セシウムが検出されなかったからといって、それ以後も綺麗なままの水でいるかどうかは分かりません。ですから、静岡市葵区の水道水を定期的に測定しています。

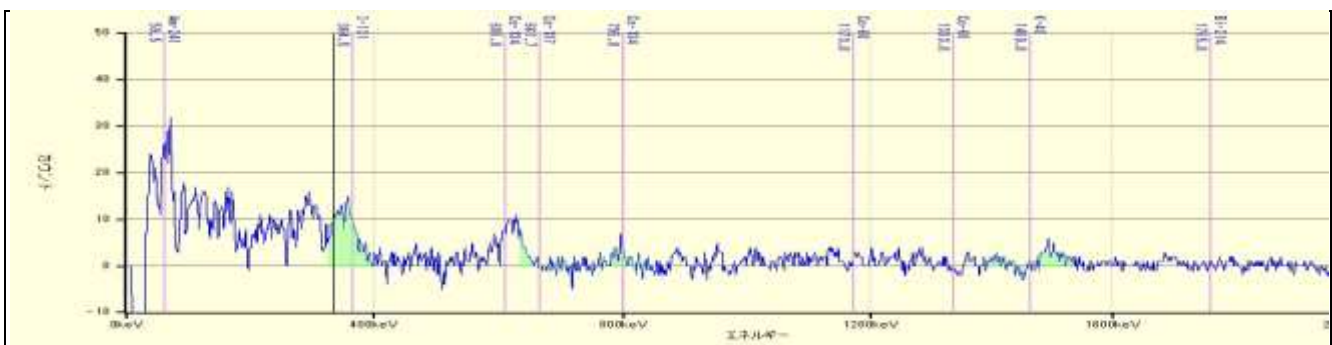
静岡市の水道水は伏流水を利用しているため、雨水の影響を受けない・・・と聞いていたのですが、昨年12月6日の朝、採取した水道水を測定したところ（図1）、400KeVより左にそれまでに見たことがない高いピークが見られました。たくさんのピークがどんな放射性物質かは私たちの測定器では確定は出来ませんが、ウラン系の放射性物質がそれまでよりも多く検出されている事がはっきりと分かります。

図1 (2012年12月6日10時採取 大雨が降った日から2日目の朝 2012年12月6日10時測定)



そこで、思い至ったのが、EMF ジャパンに Ge(ゲルマニウム) 検出器が入り、NaI シンチレーションでの測定と比較測定を行っている際、教えて貰った事です。環境試料として雨水採取し Ge 検出器で測定した結果、雨水を採取直後に測定するとウラン系の放射性物質が多く検出されるが、その雨水を1日放置して測定をすると放射性核種の量が半減するという測定結果を聞いていました。静岡市では、12月6日の2日前(4日)に大雨が降っています。雨水が水道水に利用されているのではないかと考え、この水道水を放置したなら、放射性物質の量が半減するだろうという予測を立て、測定をしました。(2日間放置した後、測定 図2)

図2 (12月6日採取の水道水を2日置いた水 2012年12月8日10時測定)



ご覧のように、2日放置後の水道水は明らかに放射性核種のピークが低く(少なく)なっています。図のY軸(カウント数)を見て下さい。採取直後の測定では100ですが、2日後の測定では50と放射線をカウントする量が約1/4になっています。紙面上、採取後1日目の測定結果の表示は割愛しましたが、おおむね半減していました。この測定結果を静岡市の水道局に提示し、静岡市の取水について問い合わせたところ、水道の利用が多い時間帯は伏流水だけでは不足し、地下水を利用しているとの回答がありました。水道水に雨水が混入しているかどうかは、この結果では分かりませんが、汲み置きした水道水の様子には放射性物質が崩壊によって減っている事は分かりました。

水道水の利用は調理、飲用水は汲み置き 2 日以上の水を！！

静岡市に限らず、水道水の水源に雨水の混入が考えられる地域にお住いの場合、皆さんも**水道水の利用は、2 日間以上汲み置きして調理に使用する事**をお勧めします。

きっと、こんな事は測定の専門家なら誰でも当然の事実だと思えますが、改めて、測定結果を観察する事で、突然、現実的な暮らし方が見えてきたように思いました。

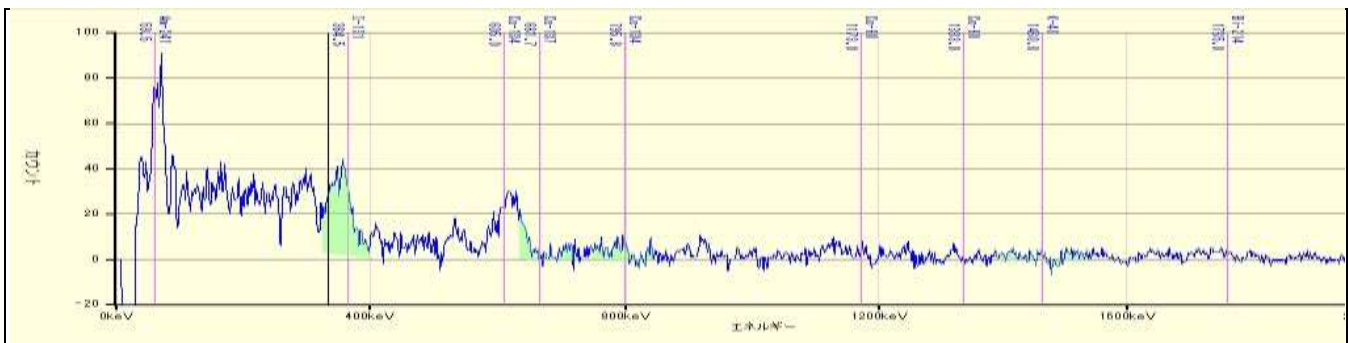
なぜなら、水を汲み置きして出汁を採ったり、炊飯用に使用する事は簡単に出来る事ですし、お金もかからないですから、ちょっとした努力で放射性物質の取り込みが減らせるなら、嬉しくなりませんか？ **ちなみに、静岡の水道水ではセシウム 134、137 共に検出した事はありません。**

静岡市の水道水の測定

静岡市の雨水を採取して、測定もしました。結果は Ge 検出器で測定した結果と同じで、1 日放置した後は各種の放射線量は半減していました。

そして、雨水と水道水の間隔を観察するため、晴れた日が続いた(12月5日から晴れが続いた)12月10日に採取した水道水を測定。(図3)

図3 (晴れが続いた 12月8日 10時に採取した水道水 2012年12月8日 12時測定)



その水道水を 2 日間置いて測定したのが、以下の結果です。(図4)

図4 (12月8日採取した水道水を2日置いて測定 12月10日 10時測定)



図3と図4を比較して観て下さい。Y軸のカウントを読み取ると、採取直後の水道水は1秒間に100カウントから70カウントに減っています。X軸の約60KeV辺りのピークは90カウントから45カウントに減っています。やはり、水道水を汲み置きして利用する事は、この場合も効果が期待できると言えます。

次に、雨が降った後の水道水(図1)と晴れた日が続いた後に採取した水道水(図3)を比較して観て下さい。Y軸のカウント数は共に100。放射性核種を特定する事は出来ませんが、おおむね同じようなピークを描いています。静岡市は伏流水を利用しているという条件ではありますが、降雨と快晴の天候条件と放射性物質の関係は有意差が無いようにも思われます。

汲み置き水道水については、この試料だけでなく、その後も何度か測定を行い、同様の結果を得ています。**以上、皆さんの生活の中で、利用していただける情報になれば幸いです。**

今日は少し真面目な話をします。

大阪でがれき焼却に反対した人が逮捕されました。現行犯ではなく、二ヶ月ほど経ったあとでの逮捕です。選挙結果を予想した上で行なった不当な逮捕だと思います。大阪で震災がれきの焼却は来年2月から始まるようです。

現在でも各地のごみ焼却場の焼却灰からは福島原発事故によって放出された放射能が検出されています。放射能に汚染された町の焼却灰から放射能が検出されても、由々しきことではあるのですが、その町のゴミが放射能で汚染されているのだから理解はできます。

ところが大阪市のごみ焼却場の焼却灰の放射能（大阪府や大阪市が発表している舞洲（まいしま）工場の飛灰の放射能）をみると、通常のゴミの焼却で Cs-134 と Cs-137 の合計が 37Bq/kg-wet (wet というのは、灰が飛散しないように灰が水浸しの状態で測定していることを意味しています)、震災がれきの試験焼却（通常のゴミに全体の 20% くらいのがれきを混ぜて焼却）後では 38Bq/kg-wet という値になっています。岩手県の震災がれきと大阪市のゴミの放射能が同じレベルにあるようです。

大阪府に九つあるごみ焼却場の今年の飛灰の測定結果は、五ヶ所から検出（9~31Bq/kg-wet）され、残りの四ヶ所は不検出（検出限界は 10Bq/kg-wet 程度）になっています。舞洲工場は、27Bq/kg-wet。

関西は福島原発事故に起因する放射能の直接の影響をあまりうけていません（淡路島の薪ストーブの灰は湿った状態に換算するとおおよそ 3Bq/kg）。四ヶ所の清掃工場の飛灰から放射能が検出されないこともそのことを示しています。では五ヶ所の清掃工場から検出された放射能と、舞洲工場の放射能が昨年より高くなっている理由をどのように考えたらよいのでしょうか。次のように順を追って考えてみます。

①大阪市よりも福島原発事故の影響を受けている島田市の焼却場でも昨年は不検出になっていることを考えれば、大阪府の汚染レベルでは、ごみ焼却場の飛灰に含まれる放射能は検

出限界（10Bq/kg-wet 程度）以下であると推測される。

②したがって、大阪市のゴミ焼却場から検出される放射能は、大阪市に間接的にもたらされたもの、即ち汚染した食品の一部によるものと思われる。

③食品に含まれる放射能の大部分（ゴミにならない部分）は人間の体を通っているはずで、最終的には下水処理場の汚泥に含まれているはずで、実際に舞洲スラッジセンターの汚泥の焼却飛灰に含まれる今年の放射能は 75Bq/kg-wet（ゴミの焼却飛灰の約 3 倍）になっています（もちろん汚染食品からだけでなく河川からの放射能の流入もあるでしょう）。

このように考えていけば、大阪市はすでに放射能汚染地域の仲間入りをしていると言えない事もあります。これは大阪市だけの問題ではないのです。福島原発の直接の影響が少ない地域で食料を域外に依存するような都市では、同じようなことが起っていると思われま

す。どうすればよいのか。

以前にも書いたと思いますが、顔の見える生産者から直接購入したり、顔の見える生産者の作ったものを販売しているお店から購入する、とか・・・。そのような生産物を最初は意識して購入する。お母さんがそうしていれば、子供は大きくなったとき、意識しないでそのような生産物を買うようになるはずで、そして私たちの食を守ってくれる生産者が困っているときは、そのために何が出来るかを考えることのできる大人になってくれると思います。お前がそうであるように。



食材の購入に迷っている娘へ

このところ外食から遠ざかっている
京都の父より

大阪市舞洲清掃工場

■ 測定室よりのお知らせ

■第17回『放射能を話そう♪!』のお知らせ

日 時： 2013 年2 月19 日（火） 13：30～15：00

参加費： 会員 300 円 一般 500 円（お茶付+測定室だより 17 号）

毎回、参加者の方から、放射能について、色々な視点で気を付ける事や新しい情報を聴くことができます。先月は家を建てる時に使うセメントがエコ・リサイクル製品として使われ、東北地方で作られているものが多いというお話が聞けました。2月はどんなお話が聞けるのでしょうか？

遠方の方も、インターネット・スカイプで参加していただけます。スカイプ参加の場合、事前に参加申し込みをして下さい。詳細をお知らせします。

■「幸せお届け便」は1・2月の申し込みです。

今回のお届け品には、**バレンタイン用にフェアトレード・チョコレート**をご用意しました。25年前のチェルノブイリ原発事故では、ヨーロッパの乳製品に強い汚染が見られたため、当時、測定室でもスイスのチョコレートからセシウムを検出しました。

しかし、その汚染も今は見られなくなっています。美味しい幸せを、受験生の皆さんにも。良質のカカオと糖分で脳に栄養補給をどうぞ。

海の汚染を心配して、昆布の汚染について、時折問い合わせをいただきます。**毎日の料理に欠かせない昆布**を、測定室の会員である静岡の海産物の老舗『次郎長屋』さんから分けていただきました。測定は『次郎長屋』さんからの依頼で行っています。安心してご利用ください。

■ 浜松分室だより 浜松分室室長 杉浦直樹

ここ浜松は、12月はとても寒くなったかと思うと、急に春並に暖かくなったりと、気温の変化が激しい1ヶ月でした。浜松分室はエアコンで室温を一定に保つようにしていますが、それでも室温の変動を記録すると5度近い変動がありました。測定作業は温度変化の影響を受けやすいので、常に標準物質で確認をしながらの測定作業となりました。また、年末には測定器のメンテナンスを兼ねて、新しい測定容器への対応を顧問の渡辺さんに行っていました。新しい容器は液体の検体でも漏れる心配がないので、飲用茶や牛乳などの測定もやりやすくなりそうです。

測定結果について悩むこともありますが、本年も着実に測定を積み重ねて行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

■測定室日誌

- 12月13日（木）第15回 放射能を話そう♪
ゲスト：清重伸之さんをお迎えして
- 12月21日（金）スタッフ会議・編集会議
- 12月28日（金）～1月6日（日） 冬期休暇
- 1月7日（月）本年活動始め、たより17号の編集開始
- 1月10日（木）～20日（日）『測定室だより』17号編集作業
- 1月17日（木）スタッフ会議
- 1月25日（金）第16回 放射能を話そう♪『手前味噌づくり』
- 1月30日（水）『測定室だより17号』発行



清重さんの絵ハガキ展

■ 地域安心マップ

地域安心マップ

子どもの健康と環境を考える会 (静岡県磐田市)

試料採取日：2012年6月15日～8月20日

『地域安心マップ』は、地域の環境放射能濃度を測定し、情報を共有する事により、安心して暮らせる方法を考え、子どもたちがより健やかに育つ具体的な方法話し合っていくためのデータをお届けしています。地域の環境試料の測定は、地域の方たちからの依頼を受けて行っています。地域の人々の子どもたちを守りたいという心が、このマップになりました。現状を知り、地域を創る勇気を全国に繋いでいきましょう。

※ND(↓)の値、セシウム合計値は、小数点第2位を四捨五入をしています。数値には0.3の誤差があります。NDは「不検出」、(↓)は「検出限界値以下」を表します。

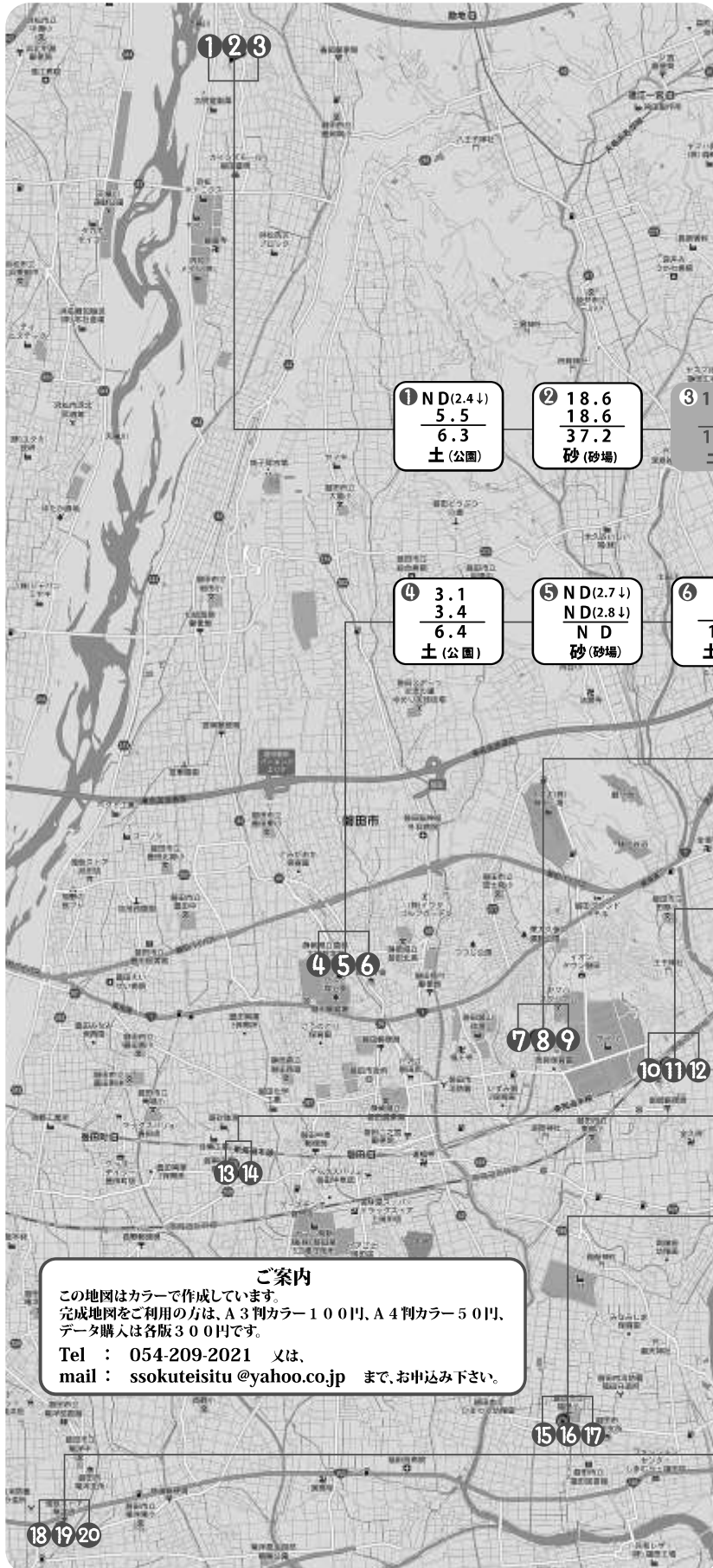
マップのみかた

枠内の数字の単位はBq/kgで、以下の順序で並んでいます。枠内の色は濃度目安です。

Cs134
Cs137
Cs合計
検体

セシウム濃度目安

- 1000以上
- 800～1000
- 600～800
- 400～600
- 200～400
- 100～200
- 100以下 (Bq/kg)



① ND(2.4↓)
5.5
6.3
土(公園)

② 18.6
18.6
37.2
砂(砂場)

③ 104.5
77.4
181.9
土(公園)

④ 3.1
3.4
6.4
土(公園)

⑤ ND(2.7↓)
ND(2.8↓)
ND
砂(砂場)

⑥ 9.3
6.4
15.7
土(公園)

⑦ 4.1
5.7
9.8
砂(砂場)

⑧ 5.7
7.2
12.8
土(サッカー場)

⑨ 40.5
27.8
68.4
土(林の中)

⑩ ND(2.3↓)
3.5
ND
砂(砂場)

⑪ 5.6
10.7
16.2
土(公園)

⑫ 13.9
15.7
29.6
土(公園)

⑬ ND(1.5↓)
ND(1.7↓)
ND
土(公園)

⑭ 15.6
11.0
26.6
土(公園)

⑮ 5.1
5.2
10.3
土(公園)

⑯ 2.1
ND(2.4↓)
4.4
砂(砂場)

⑰ 5.9
5.3
11.2
土(公園)

⑱ 13.1
11.3
24.5
土(公園)

⑲ 4.5
4.0
8.5
砂(砂場)

⑳ 4.9
5.8
10.8
土(公園)

このマップの元データは測定室だよりの
第14号
に掲載されています。

ご案内
この地図はカラーで作成しています。
完成地図をご利用の方は、A3判カラー100円、A4判カラー50円、
データ購入は各版300円です。
Tel : 054-209-2021 又は、
mail : ssokuteisitu@yahoo.co.jp まで、お申込み下さい。

(宛名)

編集・発行：静岡放射能汚染測定室 事務局
〒420-0882 静岡市葵区安東 1-2-3 プラムフィールド内
TEL/FAX 054-209-2021 (月~金 10:00~16:00)
測定室 Ph 070-5034-0920 (月~金 9:00~17:00)
e-Mail ssokuteisitu@yahoo.co.jp
URL <http://sokuteisitu.plumfield9905.jp>

浜松分室

〒433-8112 浜松市北区初生町 379-4
オーガニックハウス あさのは屋内
TEL/FAX 053-436-2313
e-Mail hamamatu.bunshitsu@gmail.com

声を上げると、同じ思いをもつ仲間が集まってきてくれました。

現在に至るまで、思うままにいろいろな活動をしてきました。測定室代表の馬場利子さんをお迎えしておしゃべり会を開催したり、自然農業をされている農家さんを訪問したり、田舎の農家民宿に泊まりに行ったり、健康食の料理教室をしたり。楽しくて笑顔になれること、心とからだが好きで喜ぶこと、希望に満ちた未来を思い描けること・・・そんなことを基準に、自由気ままに活動しています。

母となり、思いを馳せるのは、自分の人生をどう生きるかということだけでなく、自分の子どもやその先の世代へと繋がってゆく命のバトンをどう渡してゆくか、どんな世界を引き継いでいくかということです。

命の不思議や奇跡を知ってみると、ほんの目の前のことだけではなく、長い長い歴史の中ではるか昔から繋がってきた命を次の世代にしっかり引き継いでいくのが私たちの使命であり義務であると感じます。私たちが住む地球という『ほし』がどれほど美しいか少しでも知っている、人間だけが欲望のままに好き放題するなんて許されるはずがないと思えます。

子どもたちがいつまでもいつまでも健やかに笑顔で育つことができる、愛にあふれた未来が待っていますように祈りながら、これからも笑顔でゆるりゆったりいきたいと思っています。

サークルの活動記録や他愛もないひとりごとなど、ブログで公開していますので、よろしければ覗いてみてくださいね♪



■プラムフィールドの窓・測定室の風

浜松市 桂香代

“HUG～子どもたちの未来のために～”

私たち親子サークルは、活動し始めてまだ2年目で、メンバーわずか4組の小さな小さなグループです。

“HUG～子どもたちの未来のために～”が結成されたきっかけは3・11。あの日以来、私は、幼い子を持つ母親として、子どもをどうやって守っていこうかと日々悩み不安を抱えながら過ごしていました。でも周りを見渡すと、自分のように不安や悩みを持ちながら暮らしているお母さんは不思議なほどいないように見えました。「あれもこれも気になる自分は神経質で心配性なのかな？でもやっぱり・・・気になる、知りたい、学びたい、共有したい、共感したい。」という思いが募り、

HUG～子どもたちの未来のために～

<http://hughamamatsu.hamazo.tv/>